
令和7年4月提出

大船渡市議会議長様

会派 新政同友会

会 派 視 察 報 告 書

行政視察概要（行程）

Ⅰ. 視察年月日 令和7年1月29日（水）～1月31日（金）

2. 視察先及び視察項目

- Ⅰ いわて銀河プラザ（1月29日）
 - いわて銀河プラザの状況と取組について

- Ⅱ 参議院会館（1月30日）
 - 国政見学会（国会議事堂）等について

- Ⅲ 荒川区役所（1月31日）
 - ゆいの森あらかわの運営について

3. 視察参加者

新政同友会	熊谷	昭浩
	西風	雅史
	小松	則也
	菅原	実
	三浦	隆
	今野	善信

（6名）

〔I〕「いわて銀河プラザ」状況と取組について

1. いわて銀河プラザの概要

- (1) 開設年月日 平成10年10月20日
- (2) 場 所 東京都中央区銀座5-15-1 南海東京ビルディング1階
- (3) 出店の目的 首都圏において、本県が全国に誇る特産品や豊かな自然・歴史・文化・観光資源・産業立地基盤など、岩手の魅力を力強くアピールし、特産品の販路拡大や観光の振興はもとより、本県のイメージアップを図るため、総合的な情報発信拠点施設として設置した。
- (4) 出店場所の選定理由
 - ①目抜き通りである晴海通りに面し、歌舞伎座の向かいにあり、場所がわかりやすい
 - ②地下鉄駅に直結し、交通アクセスが良好である
 - ③関連施設を1フロアに集約できるスペースがある
 - ④歌舞伎座、新橋演舞場が近く、見物客の誘引が期待できる



営業時間
10時30分～19時
休館日
年末年始

(5) 施設構成 (1階フロア)

施設名	面積	概要	運営主体(委託先)
総合インフォメーション (観光情報コーナー)	70 m ²	33 市町村観光パンフレット展示、観光相談等	岩手県東京事務所
アンテナショップ	240 m ²	食品、酒類、民芸芸品等販売	岩手県産物
イベントスペース	100 m ²	県内各種団体による物産販売等	岩手県東京事務所
ビジネスサポートセンター	55 m ²	岩手県内各企業の首都圏活動拠点(3 ブース)	岩手県産物
U・I ターンセンター	75 m ²	就職情報の提供、相談等(定住相談含む)	岩手県東京事務所
その他付随施設	213 m ²	倉庫、トイレ、玄関等	岩手県東京事務所
計	753 m ²		



(6) 顧客の状況

- ① 令和5年度から令和6年度9月までの金額ベースでは、概ね40代～50代の女性の消費が最も高く、次いで60代以上女性、40代～50代男性、60代以上男性、20代～30代女性という順になっている。また、電車・徒歩・自転車での来店がほとんどで、世帯人数も少ない
- ② 歌舞伎座や新橋演舞場に来場された方や会社員、目的外のお客様多く、令和6年度は外国人観光客の来客が前年度よりも多かった
- ③ 復興支援の機運は、震災後10年を過ぎたこと及びコロナ禍が長引いていることから低くなっていると感じられるが、首都圏での店外復興支援イベントなどへの出展依頼が未だ寄せられており、継続して取り組んでいる

(7) いわて銀河プラザの運営

- ①いわて銀河プラザは、特産品の販路拡大、観光の振興などを目的として平成10年10月に開設。平成6年10月に26周年を迎えた。
施設は、岩手県が賃借し、企業立地観光部が全体の管理運営を行う。
(賃借料等の支払事務は、総務行政部)
- ②県は、アンテナショップ及びビジネスサポートセンターの運営事務を岩手県産株式会社に委託し、企業立地観光部で、施設全体の維持管理業務を行っている。(委託契約手続きは産業経済交流課、委託料は無料だが出展者の小間利用料金で相殺)
- ③アンテナショップへの小間出店及びビジネスサポートセンターの入居等は、産業経済交流課と岩手県産株式会社が協議のうえ決定。
- ④アンテナショップは、管理運営業務受託者である岩手県産株式会社の販売ノウハウを生かしながら運営しているが、県(産業経済交流課、東京事務所)は必要に応じて情報共有や助言等を行っている。



まとめ

- # 東京事務所の組織体制がスムーズに取り組まれている。
- # 銀座から近いとの立地を生かし、また地域の方々にもきちんとフォローする施策とかの、商品構成も考えられている。
- # 他県では、アンテナショップの展開を見直しているところもあるとのことだが、岩手県からの情報発信、販路拡大等まだまだこれからが必要と思われるので、全地域的な施策をお願いしたい。

2. 国政見学会（議員との意見交換）

◎国民民主党 参議院議員 竹詰 仁（たけづめ ひとし）氏



プロフィール

国会では、内閣委員会、決算委員会、東日本大震災復興特別委員会、資源エネルギー・持続可能社会に関する調査会理事に所属する。

党では、副幹事長、人事・総務局長、倫理委員長、総務調査会筆頭副会長、エネルギー調査会事務局長、政治改革・行政改革推進本部事務局長を務めています。

意見交換等

- 東日本大震災における今後の復興等について
- ILC実現向にける誘致活動等について
- 資源エネルギー・持続可能社会の今後の対応等について
- 国民民主党の掲げている103万円の施策等について
- 肝に銘じている「知って行わざるは、知らざるに同じ」貝原益軒の言葉について

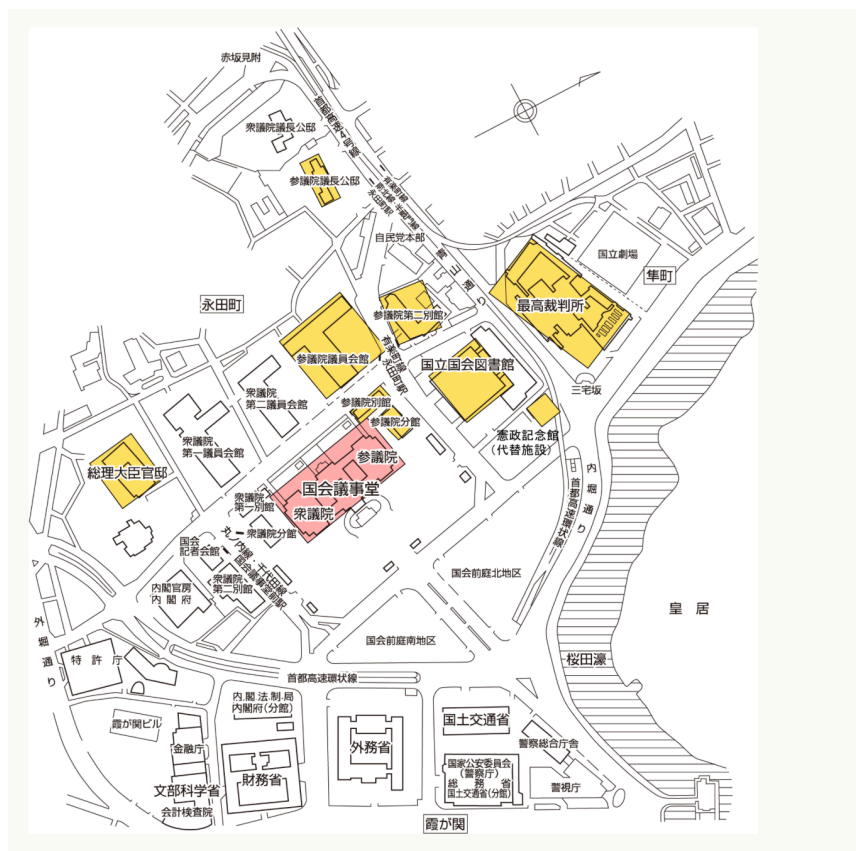
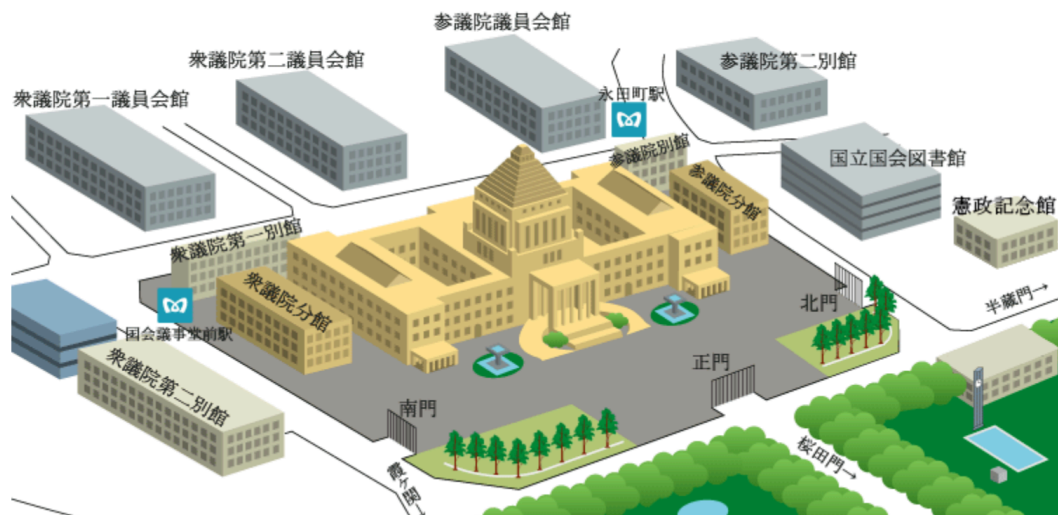


まとめ

- # 国政見学会ということで、このたびの見学会等に関しまして、竹詰ひとし事務所のご協力をいただきまして、国会議事堂及び議事堂内を参観して参りました。
- 初春を感じさせない冬空のもと、今後の活動に大いなる指針を掲げて行けるように、力強く、この地に誓い合いました。

国会周辺図

国会周辺図



〔Ⅲ〕 「ゆいの森あらかわ」について

1. ゆいの森あらかわとは

「ゆいの森あらかわ」は、人と人、本と人、地域と人が結びつき、知的好奇心を醸成し、新たな発見や出会いを創造する施設として、2017年3月東京都荒川区に誕生しました。



ゆいの森あらかわ名称の由来

人と人、本と人、地域と人が結びつき、
楽しみ・学び・安らげる、豊かな森のような
施設となるよう名づけた



ゆいの森あらかわ 施設概要

○所在地 荒川区荒川2-50-1
○敷地面積 約4100㎡ 延床面積 約10,900㎡
○階数 階数：地上5階、地下1階
○開館 平成29年 3月26日
○開館時間 9時から20時30分まで
○休館日 毎月第3木曜日 特別整理期間・年末年始等



荒川区立中央図書館

○荒川図書館 平成28年12月19日閉館
ゆいの森へ移管

○開架：30万冊規模
○閉架：30万冊規模
○座席：900席以上



ゆいの森あらかわの3つの機能

～これまでにない新しい融合施設～

○図書館

赤ちゃんから高齢者まで、全ての世代に新たな発見と読書の楽しみを提供する場

○吉村昭記念文学館

作家・吉村昭を感じ、文学に親しみ、文化を育む空間

○ゆいの森子どもひろば

子どもたちの夢や生きる力、子育ての喜びや楽しさを地域ぐるみではぐくむ荒川の未来創りの拠点



ゆいの森子どもひろば

- ・子ども自身の五感を使った遊びや実体験の場
- ・異世代・同世代との交流機会の拡大
- ・子どもの活字理科離れへの対応
- ・子育てしている人の孤立防止



1階遊びラウンジ



吉村昭記念文学館

- ・「三陸海岸大津波」「関東大震災」「戦艦武蔵」などで有名な、荒川区出身の作家・吉村昭氏の功績を称える
- ・図書館と併設することで若い世代も親しめる文学館

- ・吉村氏とご家族の思い
図書館などとの併設
寄託した資料が、
より多くの方の目に
触れること



1-A 豊かな森のような施設／学びのラウンジ&子どもひろば



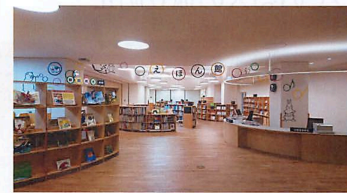
ゆいの森ホール

- 本に囲まれたホール
- 使用していないときは閲覧席として利用
- 区政の発信の場であり地域の発表の場



えほん館

- 柳田邦男先生提唱「絵本は人生に三度」
- 15回開催 柳田邦男絵本大賞
- 3万冊の絵本蔵書規模
- 子どもの遊び場と連結



体験キット



乳幼児
交流遊び場



星空学習
(ホール)



ワークショップルーム
(2階)



図書館があるのに「静粛に！」じゃない

- 地域コミュニティの拠点だから、会話OK
- 静寂の空間がいい場合は、学習室へ



11



飲食可スペース

- 図書館があるのに飲食可スペースがあり、長時間滞在可能となっている
- カフェには貸出前の図書を持ち込める



12

1-B 災害時は、防災拠点に



災害時は防災拠点

- ・ 免震構造
- ・ 乳幼児、妊産婦を中心とした避難所
- ・ 発電機、蓄電池の設置
- ・ 隣地のゆいの森芝生ひろばにはマンホールトイレ、防火水槽の整備



災害災害時には、乳児や妊産婦を対象とした二次避難所としても活用されます

荒川区立 ゆいの森あらかわ



荒川区地域文化スポーツ部ゆいの森課

1-C 「ゆいの森あらかわ」計画から実現までのトピックス

平成17年8月 これからの図書館調査懇談会

平成18年4月 子育て支援部設置

7月 吉村 昭氏逝去

11月 文学館のあり方に関する懇談会

平成19年6月（仮称）吉村昭記念文学館基本構想委員会

平成21年10月 施設用地取得

平成22年3月 複合施設の設置及び運営に関する懇談会報告

平成23年7月（仮称）荒川二丁目複合施設基本計画策定

平成21年8月 設計事業者決定

平成24年3月（仮称）荒川二丁目複合施設実地設計完了

平成24年4月 地域文化スポーツ部及び複合施設準備室設置

平成26年10月 建築工事着工

平成27年1月 愛称名決定

平成27年2月 カフェ事業者決定

平成27年3月 吉村昭記念文学館友の会設立

平成28年1月 ロゴマーク決定

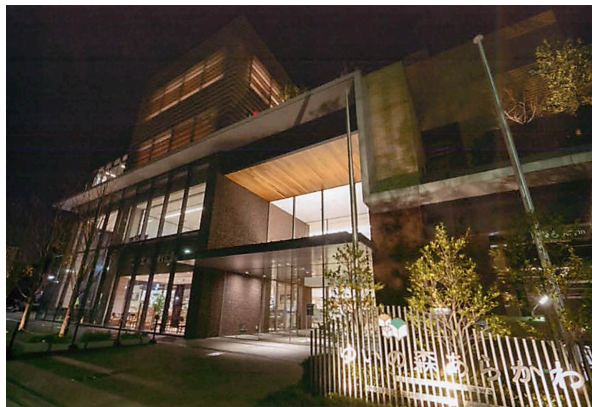
平成28年3月 管理運営方針の決定

平成28年7月 設置条例制定

平成29年1月 建築工事竣工

平成29年2月 新図書館システム稼働

平成29年3月16日 ゆいの森あらかわ開館



まとめ

東京都荒川区の「ゆいの森あらかわ」は、行政視察ランキングの上位に登場しています。このたびの視察における接遇等のおもてなしの考え方などを含め、また、あらゆる世代が活用できる複合施設のあり方等を、学ぶことができました。